

# めぐりと紫波

発行者 NPO法人紫波みらい研究所

TEL019-671-2244 FAX019-671-2243

E-mail miraiken@shiwa-mirai.com

前回は、町が進める「循環型まちづくり」の取組みを掲載しました。その後、町民の皆さんから「この内容がわからない」「この取組みに参加しているのだけど役にたっているのだろうか」などの声があがってきました。そこで、今後は皆さんの疑問に答える内容を記事にしていきます。

第1弾として、「エコ・ショップしわ」をご紹介します。

## どんな制度なの？

ごみの減量やリサイクル活動など、環境に優しい取組みをしている小売店や飲食店を町が、「エコ・ショップしわ」として認定し、その取組みを応援する制度です。

## 認定の対象となる店舗は？

町内に店舗がある小売店、飲食店で、紫波町が推奨する環境にやさしい取組みのうち5項目以上実施している店舗です。



認定証や上記のステッカーは正面ドアやカウンターなどに置いてあります。

## 審査のうえ認定

申込み内容についての審査は、町が紫波町ごみ減量女性会議に依頼し、現地調査を行います。認定されると認定証と右の認定証ステッカーが交付されます。有効期間は認定を受けた日から2年間です。

## どんな取組みをしているの？

- ◎ごみの減量化  
レジ袋配布・食品トレイの削減  
わりばし使用、食べ残しの削減
- ◎リサイクルの推進  
店頭資源の回収、リサイクル製品等の使用
- ◎3Rの普及  
リデュース：ごみになるものを減らす  
リユース：繰り返し使う  
リサイクル：資源として利用する

◆◆◆ エコ・ショップしわ認定店 ◆◆◆

飲食店

- ◆ レストランぶどうの樹
- ◆ レストラン果里ん亭
- ◆ Café Style Bar VIVID
- ◆ ビアック大盛軒
- ◆ 寿苑
- ◆ カフェ ゆいの木
- ◆ (有)天狗寿司
- ◆ 藤屋食堂
- ◆ 立呑処 SUNSET
- ◆ Villa Rosso TRE
- ◆ ミルクホールマイカ

小売店など

- ◆ (株)高幸
- ◆ ラ・フランス温泉館
- ◆ 金子新聞販売(株)
- ◆ (有)金子新聞販売紫波本社
- ◆ バルーンフラワー
- ◆ マルショウ紫波
- ◆ あづまね温泉保養施設ききょう荘
- ◆ (株)紫波フルーツパーク
- ◆ (有)紫波印刷



スーパーマーケット

- ◆ 盛岡南ショッピングセンターNACS
- ◆ マックスバリュ紫波店
- ◆ Aコープ北東北 志和店
- ◆ ロッキー紫波店
- ◆ ユニバース紫波店

産直など

- ◆ 古館産直センターグリーンハウス
- ◆ 産直センターあかさわ
- ◆ なんバザ・ホール
- ◆ 紫波ふる里センター

平成29年10月現在、29店舗が認定されていますが、認定店がもっと増えることで、循環の輪が広がります。環境にやさしい取組みをしている町内のお店の皆さん！あなたのお店も「エコ・ショップしわ」になりませんか？また、町ではCO<sub>2</sub>の排出量削減の取組みを行った町民に対し、「エコ・ショップしわ」認定店のみで利用できる「紫波エコbeeクーポン券」(商品券)を発行しています。クーポン券については、個人・団体を対象とした取組みがあります。

【問合せ先】紫波町産業部環境課 ☎672-2111

■エコ・ショップしわに関すること (生活環境室 内線2261)

■紫波エコbeeクーポン券に関すること (循環政策室 内線2250)

## 【エコ・ショップしわ】第1号店「ナックス」の取組みを紹介します。

### ■きっかけは

環境にやさしい取組みをしていたので、役場から地元企業として登録してはどうかと声かけをしてもらったこと。

### ■取組み内容

- ①店頭での段ボール・新聞・雑誌等の古紙、アルミ缶・スチール缶等の回収  
※リサイクルポイントを付与し、資源回収を促進
- ②事業所排出の生ごみ、廃食用油、ペットボトルなどのリサイクル
- ③レジ袋の削減と包装の簡素化  
※マイバッグ利用者にはエコカードポイントを付与し、レジ袋削減を促進
- ④焼酎の量り売り  
(たもりサービスカウンターにて取扱い)  
少人数の利用だが、焼酎のビンやペットボトルの排出量削減につながっている。
- ⑤野菜のバラ売り  
1個から買えるので、使いきれずに捨てる食材が減る。

### ⑥使い捨て容器の削減

テナントのお店のコーヒーカップを紙コップから陶器に変更(要望のあったお客さんのみ)など。

### ⑦節電

店内照明を今年度中にLEDに、冷蔵ケースなども省エネタイプに変更予定。

### ⑧来店客への3Rの呼びかけ運動。

### ■消費者の声

- ①店頭回収のおかげで、こまめに持って行くことができ、家が片付く。
- ②店内放送で3Rの推進など環境についても積極的に呼びかけをしてくれるので、環境の取組みについて気づかされることが多い。

### ■お店の声

店頭回収は1日2回で大変だが、具体的にCO<sub>2</sub>の排出削減量が数値として表示されるので、社会貢献の一環としてやりがいがある。従業員も回収時に消費者の声を聞くことができるなどのメリットがある。



野菜コーナー



店頭の回収スペース

家庭でも分別による資源循環の取組みが進んでいますが、消費者として、環境にやさしい取組みをしているお店を選んで購入・利用することも循環の輪が広がることにつながると思います。お店に対して、消費者からの呼びかけもいいのではないのでしょうか。

## 町内の森林整備を行う担い手の育成教室を開催しています！

紫波みらい研究所では、森林整備の担い手を育てる活動を行っています。県の森林税を活用し3年目となりました。年8回の開催で老若男女が集まっています。危険な作業ですが、同じ目的を持った仲間として、楽しい時間を共有しています。その教室の一部をご紹介します。



チェーンソーの構えから・・・



初めてのチェーンソー 玉切りの練習



チェーンソー 受け口の練習

この教室は来年度も開催する予定ですが、今からでも女性でも参加できますので、興味のある方は紫波みらい研究所までお問い合わせください。

### 【施設見学をしてみませんか】

森林資源を活用し、地域熱供給を行う「エネルギーステーション」。その熱源を冷暖房に利用する役場庁舎や「紫波型エコハウス」を見学することができます。紫波みらい研究所が自治公民館や婦人会など地域の皆さんによる施設見学をお手伝いします。日程や交通手段（バス移動可）についてご相談ください。また「エコ3センター（堆肥施設/木質ペレット製造施設）」「ラ・フランス温泉館（再生可能エネルギー施設）」など環境関連施設の見学も可能です。

【申込先】紫波みらい研究所 ☎ 671-2244

### = 編集後記 =

「エコ・ショップしわ」に認定されているお店は、いろいろ工夫をして環境に配慮した取り組みを行っています。今後もこの紙面上で各店の取り組みを紹介してまいります。みなさまからのご意見・ご感想、情報をお待ちしております。

めぐりっと紫波は、紫波町産業部環境課の委託で発行しています。